

報道関係者 各位

2016年9月29日

「生き方」を絵本にして贈ろう 教育系出版社がつくる心を育てるセミオーダー絵本。

株式会社コミニケ出版(大阪市北区 <http://www.kominike-pub.co.jp>)が企画・販売する『magokoro絵本』に、ユーザーから喜びの感想が続々と届いています。『magokoro絵本』は、「出産」「結婚」など、人生の節目をテーマにしたセミオーダーの絵本。タイトルや本文中に、ユーザーの名前や思い出のキーワードなどを入れることができ、プレゼントや記念品として最適です。

「道徳」をベースにしたストーリー

『magokoro絵本』が他社と違うのは、定型で用意されたストーリーが「道徳」をベースにしたものであること。教育専門書籍で30年の実績がある同社が、長年の経験を生かし、メッセージ性のある作品に練り上げています。特に、弟妹ができたばかりのお兄ちゃん、お姉ちゃん向けの「きょうだい絵本」は、きょうだいの絆を深める絵本として、人気があります。



「生きる力」を育てる絵本

出産や結婚といった人生の節目は、「生き方」を見直す絶好のチャンスでもあります。新しい人生のスタートを切るとき、何より財産となるのは、感謝、思いやり、自立の心ではないでしょうか。『magokoro絵本』は、上質な絵とストーリーを通してそれらの「心」を大事な人に届けます。子育てや、親子関係、夫婦の問題。あらゆる場面で今、道徳の大切さが見直されている今だからこそ、大事な人にプレゼントしてほしい絵本です。

新作も続々発表予定

現在発表されているのは、出産をテーマにした「〇〇ちゃんありがとう」。結婚をテーマにした「ふたり」と「とき」。きょうだい向けの「〇〇くんと△△ちゃんがねこになったおはなし」の4作品。今後もあらゆる人生の出来事をテーマに、新作を発表予定です。それぞれのストーリーは、magokoro絵本ホームページ(<http://www.magokoro.gift>)から確認することができます。



読者の声

2人目が生まれたお祝いに

4歳の息子が、絵本の主人公、妹、ママを実物と照らし合わせながら、目を輝かせて繰り返し読んでいます。妹のことを前よりも気にかけられるようになり、お兄ちゃんとしての責任感が生まれたように感じます。2人目を出産するママ友へのお祝いは、いつも迷いますが、世界に一つしかないこの絵本はお勧めです!

東京都 吉田さま

出産のお祝いに

何気ないシンプルなお話ですが、「自分是一人じゃない」「生命はつながっている」などの、大事なメッセージが込められていると感じて、出産を控えた友人へのプレゼントにしました。

大阪府 中尾さま

結婚のお祝いに

もう1回読もう。何度も見よう。年老いて、また、開こう。そう思いました。この絵本は、パートナーへはもちろん、これから結婚する友人へ、長い時間の「ふたり」を積み重ねてきた両親へ、そして子供たちへ、世代を越えて皆が楽しみ、温かい幸せをくれる素敵な贈り物になります。

奈良県 藤岡さま

絵本から学ぶ 感謝、思いやり、自立の心

教育専門書籍で30年の実績のある出版社が企画したmagokoro絵本。

上質な絵とお話を読みながら、子どもの成長に必要な「感謝、思いやり、自立」の心を楽しく学べます。

magokoro絵本のポイント①

主人公は自分!

タイトルと本文は子どもの名前に置き換えます。

自分だけのストーリーとしてハラハラドキドキ 感情移入して読み進められます。



magokoro絵本のポイント②

びっくり!? きょうだいの宝物がお話に登場

お話の中に、実際に使っている、おもちゃ(宝物)の名前が入ります。



magokoro絵本のポイント③

思い出の写真が入ります!

本の最後(奥付)には、好きな写真が入ります。かわいい写真入りの絵本は、一生の宝物になるはずです。



※上記の例は、「〇〇ちゃん△△ちゃんがねこになったおはなし」です。絵本によってカスタマイズ。

〇〇ちゃんと△△ちゃんが ねこになったおはなし

価格 3,980円(税別)

タイトルと本文に、お子さん(きょうだい)の名前が入ります。魔法使いによって子猫に変身させられたきょうだいの冒険物語。

人間に戻るため、小さなきょうだいをかばいながら頑張ります。上の子が男の子のバージョンと、女の子のバージョンを選べます。

男の子版と女の子版を選べます▶



〇〇ちゃん ありがとう

価格 3,980円(税別)

タイトルと本文に、お子さんの名前が入ります。祖父母、両親、自分へとつながる生命のお話。生まれてきたことへの感謝と喜びが実感できます。赤ちゃんがお腹の中にいる絵と、コウノトリが運んでくる絵のどちらかを選んでいただけます。



ふたり

価格 3,980円(税別)

本文中に、結婚する二人の名前が入ります。結婚を決めた「ぼく」と「きみ」のふたりのお話は、遠い国のおとぎ話のようでもあり、身近にある本当のお話のようでもあります。何気ない毎日のなかで輝く、キラキラとした宝石のような風景を、イメージネーションあふれるイラストで描きます。